

## すごい高さから跳び降りる

### ■アンドレ＝ジャック・ガルヌランの人生

期間	出来事
初期	ガルヌランが物理学の勉強を始めた
成年後	10
	11
	12
	ガルヌランが初めて自分のパラシュートを使った
	13

#### ■不完全なデザイン

▶ガルヌランの初めのデザインは成功だったが、それより新しいパラシュートのデザインは 14 こと 15 ことで改良されている。

#### ■地上への降下が名声を高める

▶ガルヌランは 16 最初の人物であった。  
▶ガルヌランの業績は 17 18 20世紀に知られるようになった。

問 1 10 ② 11 ④ 12 ①  
13 ③

「あなたのグループのメンバーは、ガルヌランの生涯における重要な出来事を一覧にした。『成年後』を起こった順番に完成させるために、5つの出来事(①～⑤)から4つを選びなさい。

- ①「ガルヌランが骨組みのないパラシュートに取り組み始めた」
- ②「ガルヌランが陸軍に入った」
- ③「ガルヌランが公式飛行船操縦者の称号を得た」
- ④「ガルヌランが牢獄に送られた」
- ⑤「ガルヌランの業績はのちの世代のためになった」

記事では、ガルヌランの生涯における出来事が時系列に沿って述べられている。物理学を学んだあとの出来事を年代順に並べ替えればよい。

第1段落第3文のHe began working as an inspector in the French army ... in the early 1790s. (1790年代初期に…彼はフランス陸軍の監察官として働き始めた。)から、まず陸軍に入隊したことがわかる。②がこれに当たる。

次に、第1段落第4文にAlthough Garnerin was quickly captured by British forces and sent to a Hungarian prison (すぐにガルヌランはイギリス軍

に捕らえられ、ハンガリーの牢獄に送られた)とあるので④の「牢獄に送られた」がこれに当たる。

2年後に牢獄から解放されてからの出来事は、第2段落第3文にGarnerin ... believed that he could create a frameless parachute (ガルヌランは…骨組みなしのパラシュートを作ることができると信じていた)とあり、さらに第3段落第1文にGarnerin spent much of the following years planning his innovative parachute jump. (ガルヌランはその後数年間、多くの時間を革新的なパラシュート降下の計画に費やした。)とあることから、①がこれに当たる。記事中のa frameless parachute (骨組みなしのパラシュート)が、①ではa parachute without frames (骨組みのないパラシュート)と言い換えられている。

次の大きな出来事として、1797年6月のパラシュート降下の試みは強風のため離陸できずに終わるが、第4段落第3文にGarnerin made a successful attempt in October of that year (ガルヌランはその年の10月に試みて成功した)とあり、これに続く部分で1キロメートルの高さからパラシュートを使って跳び降り、着地したことが書かれている。表に示されているのは、この場面に当たる。

選択肢③は、第6段落第2文後半にFrance named him its official Aeronaut (フランスは彼に公式飛行船操縦者の称号を与えた)とあるので最後に入る。残る選択肢⑤は、さらにそのあとのことなので、起こった順に入れると入る余地がない。

以上より、10～13には②→④→①→③の順に選択肢が入る。

問 2 14 ② 15 ⑤

「14と15に入れてポスターを完成させるのに最も適切な選択肢を2つ選べ。(順不同)」

- ①「傘のような形の骨組みをパラシュートに付ける」
- ②「パラシュートのてっぺんに穴がある」
- ③「布を適正な位置に保つためにロープを取り入れる」
- ④「空気の流れをよくするために、パラシュートの角を丸くする」
- ⑤「かごをバックパックのデザインに変更する」
- ⑥「ナイロン以外の素材を使う」

新しいパラシュートについて、ガルヌランのパラシュートよりも改良されている点を選ぶ。